1｜9 海難事故ゼロへ

小平救難所出初め式

日本水難救難会小平救難所（三浦敏二所長）の出初め式が文化交流センターで行われ、所員34人のほか、関係者らが海難事故ゼロに向けて意識の高揚を図りました。

式では、道知事表彰、日本水難救済会表彰が行われたました。

また、式辞で佐井雄一副所長が「昨年は町民がかかわる海難事故の発生はなかったが、無理な操業を慎み、不測の事態に備えて鍛錬しよう」と述べたほか、町、町議会、留萌海上保安部や留萌警察署、新星マリン漁業協同組合の来賓が、海難事故防止の協力を求めました。

海難事故防止の誓いを新たにした小平救難所出初め式

1｜11 安全操業と豊漁を願う

鬼鹿・臼谷地区大漁祈願祭

海上安全と大漁を願う鬼鹿、臼谷両地区の大漁祈願祭が、鬼鹿公民館、臼谷福祉会館でそれぞれ行われ、漁業関係者や来賓らが安全操業への誓いを新たにしました。

新星マリン漁業協同組合鬼鹿地区実行組合（坂本晃彦組合長）の祈願祭では、組合員ほか青年部、婦人部、来賓ら約60人が出席し、一人ひとりが神前に玉ぐしを捧げました。

同組合臼谷地区実行組合（萬谷秀實組合長）の祈願祭には、約80人が出席し、鬼鹿地区同様、一年の豊漁と安全操業を祈願しました。

豊漁と安全操業を願った臼谷地区大漁祈願祭

1｜15 領土への認識深める

北方領土を知る集い

町高齢者グループハウスやすらぎ荘で小平長寿会（齋藤由夫会長）の33人が参加して行われた第1回例会に併せ、北方領土復帰期成同盟留萌地方支部主催の「北方領土を知る集い」が開催されました。

「北方領土を知る集い」は北方領土返還要求運動の一環として企画され、北方領土返還推進員の宮野優さんが北方領土の歴史や返還要求運動について説明し、参加者は真剣な表情で聞いていました。

また、宮野推進員は「2月7日は北方領土の日。返還署名運動に協力してほしい」と呼びかけました。

北方領土問題について説明する宮野推進員

1｜18 スキー技術学ぶ

スキー連盟主催キッズスキー教室

小平スキー連盟（早川貞夫会長）主催による幼稚園年長児と小学校1年生対象の「キッズスキー教室」が町望洋台スキー場で開催されました。

本教室は、町内園児及び児童の体力づくりとスキー技術の向上などを目的として行われ、6人のスキー連盟指導員のもと、参加者は斜面の登り方やターンをするための身体の動かし方など、基本的なスキー操作を学びました。

はじめは慣れないスキー操作に苦労していた参加者も、指導を受けながら徐々に上達し、スキーを楽しんでいました。

基本的なスキー操作を学ぶ参加者